

## ボランティアのみなさまへ ご協力をお願いします

暑い中ボランティア活動にご参加いただきありがとうございます。  
倉敷市災害ボランティアセンターでは、地域みなさまに寄り添った活動を目指しております。

以下のことにご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。



### ●被災された方への配慮

被災された方々へのお気持ちやプライバシーを配慮し、マナーある行動と言葉遣いをお願いします。

- ・ マスコミの取材で写真やビデオの撮影が多くなっています。また、一部のボランティアによる記念撮影などで戸惑われている地元の方もおられます。不要な撮影はボランティアへの信頼を損ねる原因になるため自粛ください。どうしても撮影したいときは必ず許可を得てください。
- ・ 物の廃棄や撤去をする場合は、被災された方に必ず必要な物と不要な物確認ください(タンスなどは貴重品や現金が入っている場合がある)。被災された方の大切な思い出の品かもしれません。

### ●みなさま自身の安全管理について

熱中症やケガなどを防ぐため皆さまのご自身で体調管理を行いながらの活動をお願いします。ケガや事故が起きますとボランティア活動全体に影響します。ご配慮をお願いします。

- ・ 「危険」や「不安」と感じる作業は無理に行わない。
- ・ 体力に自信がない方や心臓病、高血圧、脳卒中等の持病をお持ちの方は、受付でお知らせください。
- ・ 必ず食事を召し上がってください。

※これまでに、食事をとらず活動中に倒れた方が複数名救急車で緊急搬送されています。

- ・ 「20分活動したら、10分休憩をとる！」自己責任で休憩を取る。
- ・ 十分な水分をご持参の上、水分補給、塩分補給をこまめにする。

※水道水はまだ安全が確認されていませんので飲まないでください。

※500mlのペットボトルでは1本では足りません。合計で2ℓ以上をお持ちください。

- ・ 感染症を防ぐために、道具や手はよく洗う。  
※倉敷市災害ボランティアセンターに次亜塩素酸ナトリウム水をご用意しています。  
※泥には下水や川の水が含まれ、食中毒や破傷風などの原因菌がいることがあります。
- ・ 肌を露出しない服装に加え、**ゴーグル、手袋、マスクは必ず着用**して作業をする。
- ・ 高温多湿により食中毒が起きやすいため食べ物には注意する。
- ・ ケガをされた場合や体調が悪くなった場合(発赤・腫れ・熱感など)は病院へ行く。災害ボランティアセンターにもご報告ください。

- ・ 過去に災害ボランティア活動中、亡くなられた事例があります。

大きなケガや死亡事故が起きると被災者の方々は心を痛め、活動全体に

大きな影響を及ぼします。**必ず無事に帰宅しましょう！**



### ●今後のお願い

次回ボランティア作業に参加される場合は、被災地への過度な渋滞や混乱を防ぐために、極力、公共交通機関のご利用にご協力いただけますようお願いいたします。